

笑顔 TOPICS

長野県と災害協定締結！



2022年4月25日に長野県、災害時支援ネットワーク様と笑顔Pの3者にて、災害協定を締結致しました。協定の中には防災訓練等への参加や重機オペレーター養成など人材育成も含まれており、平時からの連携を行っていきます。

災害は起きないことが一番ですが、起きて



しまった時には迅速な行動や対応ができるように、引き続き連携を取りながら密な関係性を作っていきます。笑顔Pも県内においては台風19号災害、辰野町・茅野市における土石流災害、小布施町農地の漂流物撤去など行ってきました。今後も顔の見える関係性を築いていきたいと思います。

ビニールハウスがついに！



2022年4月29日、nuovo第1パークに間口6m、奥行15mのビニールハウスが完成しました！人工芝を敷いた上にイスや机を設置し、大型モニターを常設しました。ビニールハウスは横幕が手動開閉できるため、温度調節や換気が可能で、夏でも快適に過ごせます。元々は農業用に使われているこのビニールハウスは、完成まで3日間と短期間での設置が可能です。

今後このビニールハウスは、災害時の避難所や対策本部・物資倉庫など幅広い活用を想定しながら、会議や各講習会の学科会場、そし

笑顔P にインターン生が仲間入り！

鈴木準希



大学4年生を1年休学し、5月1日から笑顔Pの活動に加わりました。2019年の台風19号により地元小布施町が被災した時、自分は東京の大学に通っていました。授業の関係でどうしても帰省できず、復興支援に携われなかったことが悔やまれたのですが、そんな折に笑顔Pの活動を知り、迷わずに重機講習の受講を決意しました。

その後お手伝いとして笑顔Pに参加するうち

事務局長、大学へ復学！

笑顔P事務局長 神戸智基



nuovo構想に心を打たれ、すぐに大学休学を決意。立ち上げから現在まで、多くの方々に支えていただきながら、毎日のめり込むように活動し、気付いたら2年が経過しておりました(笑)。今年度は大学生と笑顔Pの二刀流で頑張ります！

てサブスクトレーニングに来られる会員さんと講習会時の休憩などに活用していきます。笑顔Pでは引き続き、快適な環境を提供できるように検討していきます。



に、まとまった期間で笑顔P、ひいては災害支援に参加し勉強したいと考え、休学を決意しました。これからの皆さんのことを学び、吸収していきたいと思いますので、よろしく願います。



災害協定・連携先 (敬称略)

- ・石井食品株式会社 (非常食)
- ・株式会社AirX (ヘリコプター)
- ・有限会社ビビッド (電源車)
- ・POWERDRIVE R117 (ボート・船・キャンピングカー)
- ・株式会社e-nature(キャンピングカー)
- ・一般社団法人オフロードビークル協会 (バギー・モビル)
- ・真言宗豊山派仏教青年会 (寺院ネットワーク)
- ・わらび野観光株式会社 (バス)
- ・株式会社カンパーランド・ジャパン (トラクターハウス)
- ・株式会社ラックス (エアードーム)
- ・株式会社アクティオ (重機・建機)
- ・株式会社アイイー (ソリ)
- ・モトローラ・ソリューションズ (無線・トランシーバー)

- ・株式会社Goo-light (映像・ドローン)
- ・中部観光株式会社 (バス)
- ・株式会社RSS 高喜屋 (ATV バギー)
- ・NEXCO 東日本新潟支社
- ・NEXCO 東日本関東支社
- ・NEXCO 中日本
- ・株式会社NEXCOエンジニアリング新潟
- ・中野市
- ・小布施町
- ・株式会社コケナワ (携帯トイレ)
- ・株式会社C-SOS (簡易トイレ)
- ・国際災害対策支援機構 (ヘリコプター)
- ・匠航空 (ヘリコプター)
- ・長野県社会福祉協議会
- ・小布施町社会福祉協議会
- ・辰野町社会福祉協議会
- ・茅野市社会福祉協議会
- ・長野県NPO センター
- ・日本財団 (活動補助)

- ・DRT JAPAN (重機・技術系)
- ・OPEN JAPAN (重機・技術系)
- ・DEF災害エキスパートファーム (重機・技術系)
- ・KEEN JAPAN (シューズ)
- ・Patagonia (アパレル)
- ・株式会社信越車体 (車両整備)
- ・ジリリタ株式会社 (健康増進)
- ・株式会社サンコーレンタル (重機・建機)
- ・株式会社インス (アパレル)
- ・長野県社会福祉協議会
- ・須坂市
- ・HDS K9 (捜索救助犬)
- ・日本特種ボディー株式会社 (キャンピングカー)
- ・長野県
- ・長野県危機管理課
- ・災害時支援ネットワーク

<支援金のおねがい>

日本笑顔プロジェクトの活動は、自主財源に加え、皆様からの支援金のもとで成り立っております。災害による緊急支援や復旧作業などに万全の体制で臨めますよう、ご支援の程、なにとぞよろしくお願いいたします。

日本笑顔プロジェクト 代表 林映寿
八十二銀行 (ハチジュウニギンコウ)
小布施 (オブセ) 支店 (252)
口座番号 普通: 2 1 1 0 3 8
口座名 日本笑顔プロジェクト
(ニホンエガオプロジェクト)
※口座番号に7桁の指定がある場合は、
先頭部分に「0」を入力して、
[02 11038] としてください。

発行 2022年6月30日

発行者 一般財団法人日本笑顔プロジェクト
代表 林映寿
〒381-0211 長野県上高井郡小布施町
雁田 676 浄光寺内
電話: 026-247-3924
HP <https://egaonowa.net/>

制作 燕游舎

笑顔NEWS

笑顔
NIHON EGAO FOUNDATION



福島県沖地震災害支援へ出動



相馬市にある真言宗豊山派「長命寺」に物資を届けるため、笑顔P代表の林映寿は小布施を朝5時に出発。ドライバーは災害協定先の「わらび野観光株式会社」の小林達也社長が自らハンドルを握ってくださいました。高速道路を降り相馬市に入ると、多くの屋根を覆うビニールシート、道路の至るところに生じた亀裂や段差、曲がりくねったガードレール、隆起したマンホール……。地震の強さは明らかでした。

現場で学びつつ、 重機により倒壊物を撤去

2022年3月16日23時36分、福島県沖にて震度6強の地震が発生。福島県、宮城県を中心に打撃を受け、死者3名、負傷者245名、2万棟以上の住宅が被害を受ける大きな地震でした。

支援物資を携え相馬市へ

日本笑顔プロジェクト (以下、笑顔P) はまず情報収集から開始しました。3月21日、笑顔P福島支部 (福島県相馬市) からの情報をもとに、足りないものや困っていることを確認し、なにをするべきか情報共有、災害協定を結ぶ真言宗豊山派仏教青年会とも連携し、支援物資について調整を始めました。

3月23日、水2ℓ・9本入りを60箱、水500ml・



簡易トイレ「BENKING」や水のペットボトルなど支援物資を笑顔P 福島支部へ。

24本入りを40箱、熱海でも物資支援をさせていただいたBENKING (簡易トイレ) 35セットを調達。これらの物資を翌24日、福島県



災害対応仕様のキャンピングカー「EXPEDITION EAGLE」で現地入り。

テレビでは報道されない現実を目の当たりにし、甚大な被害に本部メンバーは支援入りのための日程調整を開始。すでに現地に入り活動をしていた技術系NPOと連携し、4月3日から5日まで笑顔Pから2名が現地入りしました。

地震の大きさを物語る、倒壊した一般家屋のブロック塀、倒れかけて危険な状態のブロック塀の数々。第1陣は重機を用い、それらの撤去を中心に活動しました。笑顔P副代表の春原圭



被害を受けた家屋やブロック塀の瓦礫を、重機により次々撤去。画像はそれぞれ、左が作業前・右が作業後。

太と笑顔CREWの金子真一朗は、20m以上のブロック塀をツカミ機やバケットにより撤去。倒れかけているブロックも技術系NPOメンバーと共に重機やエンジンカッターなどの道具を使いながら撤去しました。自分たちの知識にない技術を現場で教えていただき、支援活動を通してまた学びを得ました。

第2陣、財産保護に尽力

4月12日から14日は第2陣として、春原と新たに笑顔P本部の坂本海斗が南相馬市へ。重機オペレーションにより、倒壊した土蔵から貴重品ほかの搬出などを行う「財産保護」の作業を中心に実施しました。重機で屋根を支えて安全を確保したのち、ショアリングと呼ばれる技術も使いながら、屋根下に入るなどして住民の皆さんの貴重品など大切な品々を搬出。土蔵の中の物品はすべて取り出し、持ち主の方々へお渡ししました。うれし泣きされていた姿に、自分たちも胸を熱くさせられました。

第3陣、危険が伴う屋根の修繕

4月20日からは、坂本と笑顔P事務局長の神戸智基が福島入り。さまざまなリスクが伴う屋根案件の作業を行いました。ハーネスと呼ばれる命綱を着けて屋根に登り、雨漏りを防ぐためシート等で修繕をしていきました。屋根関連の経験が少ないため基礎から指導をしていただきながら、南相馬市、新地町でも屋根の修繕を行いました。

ニーズは一旦落ち着き、技術系NPOも撤退しましたが、引き続き状況に応じて現場入りしたいと思います。



足元も不安定な急勾配の屋根の上で、ハーネス (命綱) を装着しての修繕活動。

日本笑顔プロジェクト 活動の記録 (2022年3月—5月)

2022 3月

- 2日 長野県佐久市振興公社nuovo視察
4日 B&G財団拠点研修in 高知県四万十町(春原副代表)
6日 重機講習会オンライン学科講習会実施(第41、42、43回)
9日 NHK総合「NEWS シブ5 時」で生中継(nuovo)
11日 日本テレビ「MY TURNING POINT ミライに挑む冒険者たち」で放送(林代表)
13日 第41回重機講習会(実技)実施、20名受講(累計782名)①
16日 NEXCO東日本新潟支社様向けスノーバギースキルアップ講習会開催(一般社団法人オフロードビークル協会、以下OVO)②
17日 第42回重機講習会(実技)実施、21名受講(累計803名)③
20日 第43回重機講習会(実技)実施、20名受講(累計823名)
23日 nuovo第1エリア大改造④
第1回ATV四輪バギー中級ライセンス講習会(冬季)実施(nuovo EX長野・戸狩、協力:戸狩温泉スキー場様)▶下記コラム参照
24日 福島県沖地震 現地地下見・支援物資を届ける(協力:真言宗豊山派仏教青年会、株式会社C-SOS、わらび野観光株式会社、株式会社デジタス、Motorola Solutions Japan)⑤⑥▶P.1参照
26～27日 第44回重機講習会実施、17名受講(累計840名)



①



②



③



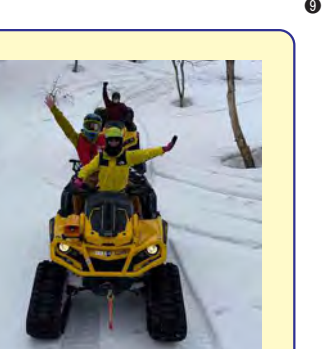
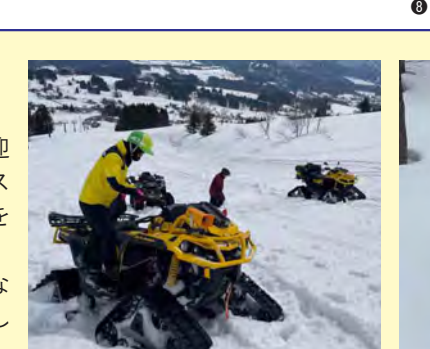
④



⑤



⑥



バギー中級コース開催 [nuovo EX 長野・戸狩]

3月23日、戸狩温泉スキー場様の全面協力の下、2名の参加者を迎え雪上訓練を行いました。気温が上がるにつれ雪の質も変わり、スタックする場面もありましたが……全員でスコップを使いスタックを抜け出すなど、汗を流し協力しながら講習会を行いました。
nuovo EX 長野・戸狩では、冬はクローラー、夏はタイヤで広大な土地で走ることができます。戸狩では、バギー中級コースをメインとした、雪害支援で活躍できる人材を育成していきます。

重機講習会がスタート [nuovo EX 千葉・成田]

2022年4月17日より、nuovo EX 千葉・成田で重機講習会が受けられるようになりました。関東圏の皆さんが受講しやすい環境を整え、重機2台を配備しCREWも充実させました。また、講習会場横は森になっているため、通常のサブスクトレーニングを受けつつ森の開拓を行う実践トレーニングも可能です。5月からはキャンプインストラクター講習もスタート。是非ユニークな講師のもとお楽しみください。



- 16日 第9回ATV四輪バギーライセンス講習会実施(協力:OVO)⑩
17日 成田第1回重機講習会(実技)実施、4名受講(累計857名)▶上記コラム参照
20～22日 福島県沖地震 災害支援(屋根支援、重機支援)▶P.1参照
24日 第46回重機講習会(実技)実施、18名受講(累計875名)
25日 長野県と災害協定締結(長野県、笑顔P、災害時支援ネットワーク様)⑪▶P.4参照
29日 nuovo第1エリアにビニールハウスが完成▶P.4参照
30～1日 第47回重機講習会実施、23名受講(累計898名)⑫



⑩



⑪



⑫



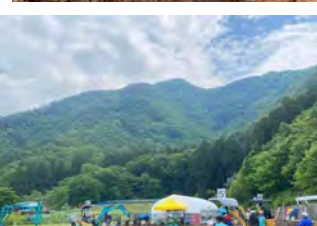
⑬

5月

- 1日 笑顔Pに地元出身のインターン生・鈴木準希(すずき としき)が仲間入り▶P.4参照
8日 重機講習会オンライン学科講習会実施(第48、成田第2回)
10日 重機講習会オンライン学科講習会実施(第49、成田第3回)
11～13日 第4回チェーンソー講習会実施、9名受講⑭
12日 NEXCO東日本新潟支社、関東支社様と雪害支援振り返りミーティング⑮
14～15日 第50回重機講習会実施、22名受講(累計920名)
17日 第49回重機講習会(実技)実施、19名受講(累計939名)
成田第3回重機講習会(実技)実施、5名受講(累計944名)⑯
19～20日 KDDIエンジニアリング株式会社様 新入社員向け研修実施⑰
20～22日 第1回キャンプインストラクター講習実施(nuovo EX 千葉・成田)
21日 長野朝日放送「いいね!信州スゴチカラ」で放送(nuovo EX 長野・戸狩)
21～22日 第51回重機講習会実施、21名受講(累計965名)⑱
26日 第10回ATV四輪バギーライセンス講習会実施(協力:OVO)⑲
27日 森林と防災 燃える丸太「ログファイヤー」作り(協力:フォレストデザイン様)⑳
28日 地域活性化センター様「地方創生実践塾」開催(nuovo)㉑
29日 第48回重機講習会実施、20名受講(累計985名)
成田第2回重機講習会(実技)実施、9名受講(累計994名)



⑭



⑮



⑯



⑰



⑱



⑲



㉑